【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】令和4年9月27日(2022.9.27)

【国際公開番号】WO2022/049684
【出願番号】特願2022-546788(P2022-546788)
【国際特許分類】
Ｆ０４Ｄ 29/28(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０４Ｄ 29/28 Ｐ

【手続補正書】
【提出日】令和4年8月2日(2022.8.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
駆動モータと、
前記駆動モータのモータシャフトに固定され、前記モータシャフトの回転軸を中心に回転する羽根車と、
前記羽根車へ向かって空気が流入する吸込口、及び前記吸込口よりも前記羽根車に流入する空気の流れの上流側に配置された大径口面を有するベルマウスと、前記羽根車が発生させた気流を吹き出す吹出口を有し、前記羽根車を収容するケーシング本体とを備えたスクロールケーシングとを備え、
前記スクロールケーシングの内側を向いた前記ベルマウスの内壁面には、前記羽根車の回転方向に伸びる起伏形成部が設けられており、
前記起伏形成部によって前記ベルマウスの内壁面に起伏が形成され、前記起伏を設ける位置をＢ、前記ベルマウスの前記吸込口と前記大径口面との距離をＡとした時、０．２５≦（Ｂ／Ａ）≦０．８５を満たしていることを特徴とする遠心送風機。
【請求項２】
前記起伏形成部は、前記羽根車の回転方向に全周にわたって設けられていることを特徴とする請求項１に記載の遠心送風機。
【請求項３】
前記スクロールケーシングは、前記羽根車が発生させた気流を前記吹出口へ導く舌部を備え、
前記モータシャフトの回転軸と前記舌部の先端とを結ぶ仮想線を、前記羽根車の回転方向への角度θ＝０°の基準位置とし、
前記内壁面のうち、少なくとも－７０°≦θ≦２０°の範囲には、前記起伏形成部が設けられていることを特徴とする請求項１に記載の遠心送風機。
【請求項４】
前記スクロールケーシングは、前記羽根車が発生させた気流を前記吹出口へ導く舌部を備え、
前記モータシャフトの回転軸と前記舌部の先端とを結ぶ仮想線を、前記羽根車の回転方向への角度θ＝０°の基準位置とし、
前記内壁面のうち、少なくとも２０°≦θ≦１１０°の範囲には、前記起伏形成部が設けられていることを特徴とする請求項１に記載の遠心送風機。
【請求項５】

前記スクロールケーシングは、前記羽根車が発生させた気流を前記吹出口へ導く舌部を備え、

前記モータシャフトの回転軸と前記舌部の先端とを結ぶ仮想線を、前記羽根車の回転方向への角度θ＝０°の基準位置とし、

前記内壁面のうち、少なくとも２００°≦θ≦２９０°の範囲には、前記起伏形成部が設けられていることを特徴とする請求項１に記載の遠心送風機。

【請求項６】

前記モータシャフトの軸方向に間隔を空けて、前記起伏形成部を複数設けたことを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載の遠心送風機。

【請求項７】

前記起伏形成部は、突起及び溝の少なくとも一方であることを特徴とする請求項１から６のいずれか１項に記載の遠心送風機。